



# 例会報告：2015年8月25日（曇り） 第1901回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2015年8月25日 12：30～13：30

## ◆ 会長挨拶

### 「ゲスト・ビジターのもてなし方」について



木村 頼弘 会長

当クラブにも多くのゲストやビジターが来られます。今現在、ゲスト・ビジターに対して、私達がどのように「もてなしたら良いのか」という取り決めが特にあるわけではありませ

ん。と言って今のままで良いかと言ったら、そうとも思えない気がします。ゲスト・ビジターに対してのお出迎えとお見送りは会場監督の方がきちんと礼儀を尽くして、もてなしていると思います。そして、例会会場に入ったゲストの方は、担当者の方がお世話をします。ビジターが来られた場合は、知っている方がお相手をお願いします。それはそれで良いと思います。しかし、それ以外の人達はまったく自分には関係ないといった雰囲気を感じられます。私が言いたいことは、クラブの雰囲気という物、この雰囲気は目には見えませんが見えないだけに、とても大切な事だと思

います。皆さんがゲスト・ビジターを他人任せにして自分には関係ないと思えば、そういった空気がゲスト・ビジターも感じるはずで

す。その反対にゲスト・ビジターのことを皆さんが気にかけて意識すれば、来られた方もきっと、その雰囲気を察知すると思

います。今日はゲスト・ビジターの方が来られてるなど、意識する事が大事で、気が付いた方が一言声を掛けて頂けたら、それで十分だと思

います。そういった心がけが、自分も気持ちが良いし、それ以上にゲスト・ビジターは心地よく感じると思

## ◆ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1) 来週は理事会が11時から談話室で開催されます。理事の方はお忘れな
- 2) 地区大会親睦ゴルフコンペの再案内が来ています。参加希望の方は事務局まで申込をして下さい。
- 3) 10月25日に地区大会が茅ヶ崎市民文化会館で開催されます。出欠を次週お配り
- 4) 地区より2012～13年RI会長をされた田中作次様より著書をいただきました。
- 5) 米山梅吉記念館から館報が届いています。

## ◆ 出席報告

太田 忠 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月25日	46(43)	34	1	81.40%
8月11日	46(45)	38	1	86.67%
8月4日	46(44)	38	1	88.64%

- 【欠席者】9名  
石崎 孝、志澤 昌彦、鈴木 竜哉、辻村 彰秀、上田 博和、大野 英明、大川 誠、杉本 博愛、大川 裕
- 【今回MU】1名  
石崎 孝 (8/21 湯河原)
- 【前回MU】増加なし  
【前々回MU】増加なし

## ◆ 委員会報告

### 雑誌広報渉外委員会・金山委員長

ガバナー月信に小嶋さんが昨年度6月にセミナーへ出席された際の報告を書かれています。去年8名増強したことなど触れられていますので、是非ご覧ください。表紙をめくったところには箱根の被害状況が載っています。会長幹事会で箱根の話が出て、石崎ガバナー補佐が掲載をお願いしてくれました。ありがとうございました。

### ゴルフ同好会・一寸木委員

本日配布させていただいたのは9/27ゴルフコンペのご案内です。ご家族の皆さんも参加できますので是非お申込みください。大人数で楽しくやりたいと思います。

## ◆ Table Flower

- アンズリウム
- ヒペリカム
- スプレーバラ
- フロリダビューティー

【花言葉】  
アンズリウム：「熱心」「情熱」  
ヒペリカム：「きらめき」  
スプレーバラ：「温かい心」「一時の感銘」



## ◆ 卓話

### 「少年スポーツ交流について」



小田原・濟州友好交流協会  
小林 英樹 様

今年2月から3月にかけて韓国・濟州島からサッカーとバドミントンの選手が来日し、小田原城北RCの皆さんにと

てもお世話になりました。協賛金等もたくさんいただきありがとうございました。「小田原・濟州友好交流協会」は2005年にスタートし、市民交流を目的に活動しています。最初は元市議員の大野さんが主宰する西湘日韓親善協会と、韓国側の民団という組織が主体でした。私は西湘日韓親善協会の事務局をやっており、手伝いながら何度か濟州を訪問していました。杉崎さんや石崎さんが行かれたのも2005年か2006年だったと思います。単純に年1～2回向こうの市役所や県庁、体育協会を訪問して交流を重ねてきましたが、行き来するだけでなかなか進展がありませんでした。2010年に最初のスポーツ大会が行われることになったのは、その年に小田原ガスの原会長や市議員の方々も一緒に行って体育協会会長（県知事が兼任）に会うことができたからです。交流として何をやっていけばいいのか？サッカーだったらすぐにできるんじゃないか？ということで、2010年に第1回大会が始まりました。最初は濟州から選手団が小田原市に来て、城山競技場でサッカーをして箱根観光をして帰りました。第2回大会は2011年で小田原から小学生選抜チームで行きました。第3回は元プロサッカー選手の奥寺さんが校長を務める星槎学園が協力してくださり、大磯のグラウンドで交流大会ができました。第4回はこちらから訪問して、この回から中学生のバドミントンチームが参加するようになりました。濟州側からサッカーばかりでなく他の種目も入れて欲しいと要望があり、向こうで盛んだったバドミントンに決定したのです。その時は小川さんにご協力いただき、カメラマンとして同行もしていただきました。濟州は濟州島という大きな島に40くらいの小さな島がついており濟州道と呼ばれます。正式名称は濟州特別自治道です。濟州島には濟州と西帰浦（ソギポ）の二つの市があり、あとは小さな村が点在しています。10年くらい前は本当に田舎で、韓国の人もほとんど訪れないところでした。濟州は元々民族が濟州王国です。面積は1845キロ㎡、人口が約55万人、昔からの名字は3つしかありません。その3人が先祖と言われています。長年韓国本土とは交流がなく、モンゴルに占領されたこともあります。なぜ特別自治道になったかということ、韓国との複雑な関係の結果のようです。

県知事は公平な選挙で決まりますが、予定された人が予定通り選ばれているようです。そして市長は県知事が任命します。太平洋戦争が終わって南北戦争の時に、北朝鮮に攻め込まれた韓国軍が濟州に逃げ込みました。その時に戦争に反対した人が処刑されたりする不幸な事件があって、韓国本土から賠償金のようなお金が出ているようです。体育協会も予算をしっかりと持っていました。複雑な関係らしいです。しかしここ3～4年、様子が変わってきて韓国本土から来た人が多くなり夜のお店なども増えてきました。中国の人もたくさんいます。中国の人がお店やデパート、ホテル、土地などを買い漁っています。我々のスポーツ交流がうまく進んできて、横浜の総領事からも声がかかるようになってきました。もう10年くらい濟州の人たちと交流しています。私はソウルの人たちとはうまく付き合えないのですが、濟州は沖縄などと似た南国風の付き合いやすさを感じます。小田原には濟州の人がたくさんいて、溶け込んで暮らしています。日本にいる韓国人は4種類に分けられると思います。昔、文化の伝来・陶器などの伝来で来たのが最初の人たちで、秦野の「秦」も韓国の人の名前だそうです。次は強制的に連れられてきた人たち。そして南北戦争のときに逃げてきた人たち。そこまでの方たちは優しくて日本語が堪能です。日本に感謝してくれている人たちです。でも最近増えているのは、一旗揚げようとソウルからやってきた人たちで、我々の事業を邪魔されたりもしています。

いつも濟州とはメールでやり取りしています。体育協会会長は県知事兼任で、その下に民間から指名された副会長がいますが、今の副会長は濟州の柔道協会会長です。日本で柔道をやっていたので日本最良で日本語もお上手です。その関係で日本の柔道協会副会長から連絡があり、今度は柔道もやらなくてはならないかなと思っています。ただ大人数になると遠征も大変です。今は小田原市役所が協力的で、奨励金を出してくれたり酒匂川河川敷のサッカーコート

